

ベトナムにおける現地情報

2022年7月14日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

**【渡航関連ニュース】**

(ベトナム格安航空会社のハノイー福岡の新路線が運航開始しました)

ベトナムの格安航空会社(LCC)のベトジェットエアは7月3日、ハノイと名古屋、そしてハノイと福岡を結ぶ新路線の運航を開始しました。

ハノイー福岡間の路線は火・木・土曜日の週3日で運航するとのこと。

運賃は荷物も最低限(約7kgまで)で席も一番狭い席、機内食や飲み物も一切無し、というミニマムケースであれば4万円程度で往復チケット入手も可能です。

これは既存の直行便であるベトナム航空の半額以下ですので、かなりインパクトがあると思います。

ただ、ディレイ率も非常に高いことで有名で、スケジュールに余裕があったり、深夜2時、3時以降の出発になったりする可能性を許容できることが必要かなあ、と思います。

実際、先日、私もハノイー関西国際空港は1時20分発の予定が3時過ぎの出発となり、次の日は一日中、眠気に襲われて日中は仕事になりませんでした。。

(旅行者や外国人を狙った犯罪が増えています)

ベトナムの景気は徐々に回復の兆しを見せているとはいえ、やはりコロナ禍で職を失ったり、売上げが落ちた人々は多く、タクシーによる犯罪が報告されるケースが増えています。

先日、在ホーチミン日本国総領事館より、昨今、ホーチミン市内においてタクシーに関する事件被害やトラブルに関する報告が複数件あった旨の通知がございました。

被害例で多いのが「金額ごまかし」です。ベトナムは一般的な金額の桁が大きい  
ため（10万ドンで590円ほど）、日常生活で数十万ドンという単位が平気で出てき  
ますので、ちょっとタクシーに乗って5万ドン（245円）ほどなのに、50万ドン  
（2450円）と言われても「そんなもんかな？」と旅行者の方などはつい支払ってし  
まい、後から「それは高すぎる」と指摘されて気づくケースも多いようです。

また、料金メーターが異常な速さで課金されていくタクシーなどは観光地で乗車  
すると「あるある」と言って良いと思います。

旅行者の方が夜中にタクシーに乗り、どの紙幣が幾らかが暗くてよく見えない  
と、運転手が「俺が見てやる」と財布に手を突っ込んできたり、財布を貸してみろ  
と言われて、その間に、「サッと」余計な紙幣を抜き取るのも、タクシー詐欺とし  
てよく報告されるケースかと思えます。

対策として、今、一番良いのは配車アプリを使って、車両や運転手の情報、料金  
などについて事前に把握をしたものに乗ることかと思えます。

ただし、これも完璧ではございませんので、やはり、注意深く運転手やメーター  
などを観察し、ナンバーなどを控えておくなどの対策も必要かと思えます。

### 【経済関連ニュース】

#### （ベトナムへの外国投資は新規は伸び悩み、追加投資は大きな伸びと対照的）

ベトナム外国投資庁の発表によると、2022年上半期（1月1日～6月20日）の外国  
企業によるベトナムへの直接投資（新規・追加投資の合計）の件数は1,239件  
（前年同期比2.0%減）、認可額の合計は117億6,014万ドル（13.9%減）とのこ  
とで、今年第一四半期のコロナ関連規制の影響があったのか数字的には物足りない  
ものとなりました。

ただ、新規の投資と既にベトナムに拠点がある企業の追加投資を分けて見てみる  
と明暗が分かります。

新規投資案件については752件（6.5%減）、金額は49億4,294万ドル（48.2%  
減）と、件数・金額ともに前年同期を大きく下回る数字となっております。

その一方、既にベトナムへ投資済みの案件に対する追加投資は 487 件（5.9%増）、68 億 1,720 万ドル（65.6%増）と、これは新規と真逆の好調さを示しています。

おそらく、これはコロナによる規制が徐々に緩和された、この上半期中で、既に拠点がある企業はいち早く拡張に動き、新規の企業については、まだ投資を決定できるほどの意思決定ステージに達しなかった、ということではなかろうかと思えますので、そうであれば、今年下半期については新規の投資についても大きくのびる可能性があります。

投資認可額を国別にみると、シンガポール、韓国が上位を占め、これにデンマーク、中国、日本が続く形となります。デンマークはレゴによるベトナム南部への玩具工場の新規投資（約 13 億 2,000 万ドル）が大きく影響しています。

### 【コロナ関連ニュース】

（ベトナム→日本へ帰国する際の陰性証明取得にご注意ください）

先月もお知らせしたようにベトナム政府は 5 月 15 日午前 0 時から、ベトナムへ入国するあらゆる人に求めている新型コロナウイルスの検査要件を「一時的に」停止し、現在、ベトナムへの入国に関してコロナ関連で求められるものはなくなり、コロナ以前と同様、日本人は 15 日間以内のベトナム滞在であればビザなしで渡航滞在できるようになっております。

（！注意！）

ただし、「ベトナム→日本」へ帰国する場合には現在、日本の空港にて 72 時間以内の新型コロナウイルス陰性証明、および、ワクチン接種の履歴を示す証明書の提出が求められます。

ベトナムの滞在が短い方は、貴重な日程をベトナム国内の病院にて陰性証明を取得するために取られてしまいますのでスケジュール調整にご注意ください。

（ベトナム国内に新たなコロナ感染者増加の兆し??）

現在、統計的にはベトナム国内の新規感染者数は数百人/日程度とほぼ収束している状態となっております。

ですので、あまり軽々なことは言えないのですが、実感として、私の周囲で新たにコロナ陽性者となる方が増えているように思います。

それも今年の4月頃のように「コロナ感染しても鼻風邪程度」というような感じではなくて、しっかりとしただるさや熱があるケースが多いように思います。

あくまでも私の周囲だけの話ですのでベトナム全体としては特に流行しているわけではございませんが、悪しからず。

ただ、ベトナムへご出張をお考えの方は「万が一、ベトナムにおいてご自身がコロナ感染し陽性となったケース」は頭の片隅に入れておいていただけると良いように思います。

以上